

豊かなおおいた <sup>もり</sup>森林を育み 木と暮らし



2022 第45回  
全国育樹祭

実施計画

第45回全国育樹祭大分県実行委員会



## 第1章 開催計画

1	全国育樹祭の目的	4
2	大分県での開催状況	4-5
3	開催方針	6-7
4	大会テーマ	8
5	大会シンボルマーク	8
6	大会ポスター（原画）	8
7	開催概要	9-10
8	開催場所詳細	11

## 第2章 お手入れ行事計画

1	基本的な考え方	12
2	お手入れ行事の概要	12-14
3	会場整備・設営	15-16
4	記念育樹活動等	17

## 第3章 式典行事計画

1	基本的な考え方	18
2	式典行事の概要	18-19
3	メインテーマアトラクション	20
4	会場設営	21-26
5	おもてなし広場	27-28

## 第4章 懇談会計画

1	基本的な考え方	29
2	懇談会（歓迎レセプション）の概要	29

## 第5章 併催行事計画

1	育林交流集会	30
2	全国緑の少年団活動発表大会	31

## 第6章 記念行事計画

1	森林・林業・環境機械展示実演会	32
2	その他の記念行事	33

## 第7章 運営計画

1	基本的な考え方	34
2	実施本部設置計画	34 - 36
3	参加者行動計画（1日目）	37
4	参加者行動計画（2日目）	38
5	受付計画	39
6	警備・警護計画	39
7	消防・防災計画	40
8	救護・衛生計画	40 - 41
9	参加者サービス計画（式典行事）	42
10	緊急対応計画	42
11	雨天時・荒天時対応計画	42 - 43

## 第8章 広報・協賛計画

1	広報計画	44
2	協賛計画	44

## 第9章 開催準備計画

1	リハーサル計画（お手入れ行事）	45
2	リハーサル計画（式典行事）	46
3	開催スケジュール	47





2022 第45回 **全国育樹祭**  
豊かなおおいた 森林を育み 木と暮らし

**実施計画**

## 1. 全国育樹祭の目的

全国育樹祭は、継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発するため、全国植樹祭を開催したことのある都道府県において、公益社団法人国土緑化推進機構との共催で行われます。

大会では、全国植樹祭において天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木について皇族殿下によるお手入れを行うほか、皇族殿下によるお言葉や各種表彰、参加者の育樹活動等の行事が催されます。

## 2. 大分県での開催状況

本県では過去に、全国植樹祭が2回、全国育樹祭が1回、開催されています。

昭和33年に別府市志高湖畔で開催された第9回全国植樹祭は、戦後伐採された森林の早期復旧を目指す大会として、植林意欲を喚起し、拡大造林を推進する契機となりました。

昭和52年、同地が始まりである第1回全国育樹祭は、「植林の時代」から健全な森林を育てるための「育林の時代」への転機を全国に示し、除間伐など保育活動を推進する契機となりました。

平成12年、20世紀最後の2000年には本県2回目となる第51回全国植樹祭が豊後大野市大分県民の森で執り行われ、「21世紀における森林と人との共生」などの方針のもと、森林を愛し、育て、感謝する大会となりました。

### 第9回全国植樹祭

戦後伐採された森林を復旧するため、「原野造林」のテーマのもと、昭和33年に第9回全国植樹祭が開催されました。

#### 【開催概要】

- テー マ 原野造林
- 開催日 昭和33年4月8日(火)
- 参加人数 10,000人
- 会場 大分県別府市(志高湖畔)



▲お手植えのご様子

## 第1回全国育樹祭

第9回全国植樹祭において天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木への、皇太子同妃両殿下による施肥や各種行事が、第1回全国育樹祭として行われました。

### 【開催概要】

- 大会テーマ 豊かなみどりのふるさとづくり
- 開催日 昭和52年9月16日（金）
- 参加人数 4,000人
- 会場 大分県別府市（志高湖畔）



▲お手入れのご様子

## 第51回全国植樹祭

千年紀の変わり目である西暦2000年、本県にとって2度目となる第51回全国植樹祭が大分県県民の森 平成森林公園で開催され、天皇皇后両陛下によるアカガシ、ブンゴボダイジュ、ボタンザクラ、カツラ、ブンゴウメ、ケヤキのお手植えなどが行われました。

### 【開催概要】

- 大会テーマ 2000年豊かな国の森づくり
- 開催日 平成12年4月23日（日）
- 参加人数 12,000人
- 会場 大分県県民の森 平成森林公園



▲お手植えのご様子

### 3. 開催方針

現在、先人の努力等により植え、育てられてきた森林資源は充実し、利用期を迎えている中、本県では、主伐の生産性向上や再生林の省力化、中低層の非住宅の木造化など、森林資源の循環利用の推進に取り組んでいます。

また、継続して森林を守り育てるには、次代の森林づくりを担う人材の育成も大切であることから、県の森林環境税を活用しながら、部局を超えた森林環境教育の取組を進めています。

そこで、このような時代背景のもと「伐って使い・植えて育てる」「次代につながる森林づくり」「森林・林業県おおいたをPR」の3つを柱に第45回全国育樹祭を開催します。

#### (1) 伐って使い・植えて育てる

「昭和電工武道スポーツセンター」はスギ無垢乾燥材を屋根構造に使用した施設では国内最大級です。これを式典行事会場とすることで、県産木材の供給力や木材加工技術の高さをアピールします。

そのほか、様々な木材利用の取組事例や、ICT技術等も含めた林業の最新技術を幅広く発信していきます。

#### (2) 次代につながる森林づくり

子どもたちの年齢層に応じた体系的・継続的な森林・林業教育を推進します。

また、県民がより森林・林業に触れ親しみ、身近に感じることでできる機会を提供するため、県内各地での育樹活動等を開催します。

さらに、県民による森林づくり活動の合言葉として大分県民の『誓いの言葉』を定め、全国に発信します。

#### (3) 森林・林業県おおいたをPR

本県の豊かな森林と、古くから盛んに行われ発展してきた林業・木材産業やしいたけ生産の現場、そこで働く人々の姿など、森林・林業県おおいたを全国に紹介していきます。

また、豊かな森林は美しい景観を形成するとともに、さまざまな農林水産物も育んできました。そこで大分県の豊かな自然や、しいたけなどの特産品もPRします。

今大会を契機に、次代を担う子どもたちに森林・林業への興味・関心を促し、将来の林業・木材産業を担い支える人材の育成を進めます。加えて、資源循環型の森林づくりの環を、県民総参加で広げます。

## 全国育樹祭とは

全国育樹祭は、継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発するため、全国植樹祭を開催したことのある都道府県において、国土緑化推進機構との共催で行われます。

第 9 回全国植樹祭（昭和 3 3 年）

第 1 回全国育樹祭（昭和 5 2 年）

第 5 1 回全国植樹祭（平成 1 2 年）

## 第 4 5 回全国育樹祭（令和 4 年）

### <開催のポイント>

#### 伐って使い・植えて育てる

林業・木材産業県として大分県の多様な木材利用を推進

ICT技術等も含めた森林づくり技術を幅広く発信



#### 次代につながる森林づくり

次代の森林づくりを担う子どもたちの育成

県民がより森林に触れ親しみ、森林を育む機会の提供

緑豊かな森林を未来につなぐため、県民全員が考え、行動できる合言葉の作成



#### 森林・林業県おおいたをPR

大分の豊かな森林・林業を全国にPR

大分の素晴らしい農林水産物を全国にPR

豊かな自然や文化遺産など、大分が誇る地域資源を全国にPR



## 「第 4 5 回全国育樹祭」の開催を契機に

- 子どもたちに大分の魅力ある森林・林業に興味・関心を持ってもらい、担い支える人材へと育成します。
- 木を伐って使い・植えて育てる森林づくりの環を、県民総参加で広げます。



## 4. 大会テーマ

豊かなおおいた <sup>もり</sup> 森林を育み 木と暮らし

- 作者 <sup>たかむら みき</sup> 高村 美紀さん（大分県大分市在住）
- 講評 豊かな森林を愛情を持って育て、恵みである木材を使って暮らすことで森林資源循環の大切さが表現されています。

## 5. シンボルマーク



- 作者 <sup>とみなが あすか</sup> 富永 明日香さん（長崎県西海市在住）
- 講評 笑顔で親しみやすい表情と新芽を守る力強い手から、森林をあたたく見守り、育てていこうとする想いが伝わってきます。  
また、新芽から森林へとの循環の輪が表現されており、未来へつなぐ大切さが見える作品です。

## 6. 大会ポスター（原画）



「支え」

- 作者 <sup>ひろせ ここね</sup> 廣瀬 心音さん  
大分市立坂ノ市中学校2年  
（令和2年度当時）
- 講評 人々が植えた木が私たちの住んでいる美しい地球を支えていることを象徴的に表現しています。どっしりとした大きな幹や空に向かって伸びる枝や若葉から育樹のエネルギーが伝わってきます。緑に覆われた美しい地球を守り、育てていこうとする意志が強く伝わり、幹や枝、葉や地球の表現技術もすばらしい作品です。

## 7. 開催概要

### (1) 全国育樹祭行事

主 催 大分県、公益社団法人国土緑化推進機構

#### 【お手入れ行事】

- ①開催日 2022年（令和4年）11月12日（土）
- ②会 場 大分県県民の森 平成森林公園（豊後大野市）
- ③参加者 約300人
- ④内 容 皇族殿下による天皇皇后両陛下お手植え樹木のお手入れ

#### 【式典行事】

- ①開催日 2022年（令和4年）11月13日（日）
- ②会 場 昭和電工武道スポーツセンター（大分市）
- ③参加者 約5,000人
- ④内 容 皇族殿下のおことば、緑化等功労者の表彰、緑の少年団活動の発表、メインテーマアトラクション、大会宣言など

#### 【懇談会（歓迎レセプション）】

- ①開催日 2022年（令和4年）11月12日（土）
- ②会 場 大分県内ホテル（未定）
- ③参加者 約300人
- ④内 容 皇族殿下の御臨席を仰ぎ、緑化等功労者を招待して懇談会（歓迎レセプション）を開催

### (2) 併催行事

#### 【育林交流集会】

- ①主 催 大分県、公益社団法人国土緑化推進機構
- ②開催日 2022年（令和4年）11月12日（土）
- ③会 場 J：COM ホルトホール大分
- ④参加者 約300人
- ⑤内 容 県内外の林業・木材産業の関係者や、次代を担う学生などの参加による森林資源の循環利用等をテーマとした優良事例報告など

## 【全国緑の少年団活動発表大会】

- ①主 催 大分県、公益社団法人国土緑化推進機構
- ②開催日 2022年（令和4年）11月12日（土）
- ③会 場 活動発表大会：iichiko音の泉ホール  
交 流 集 会：大分市立のつはる少年自然の家
- ④参加者 活動発表大会：約300人  
交 流 集 会：約150人
- ⑤内 容 全国から選出された緑の少年団や県内外の緑の少年団が集い、日頃の特色ある地域活動の発表による相互研鑽や、団員同士の親交を深める。

## (3) 記念行事

## 【森林・林業・環境機械展示実演会】

- ①主 催 大分県、一般社団法人林業機械化協会
- ②開催日 2022年（令和4年）11月13日（日）、14日（月）
- ③会 場 別府市志高
- ④参加者 約10,000人
- ⑤内 容 充実する国内の森林資源の活用に欠かせない高性能林業機械や、日進月歩で技術が進み活用が期待される情報関連機器等、森林林業・木材産業の効率化・高度化に資する関連メーカー等が最新技術を展示実演

## (4) その他の記念行事

## 【森林フェス】

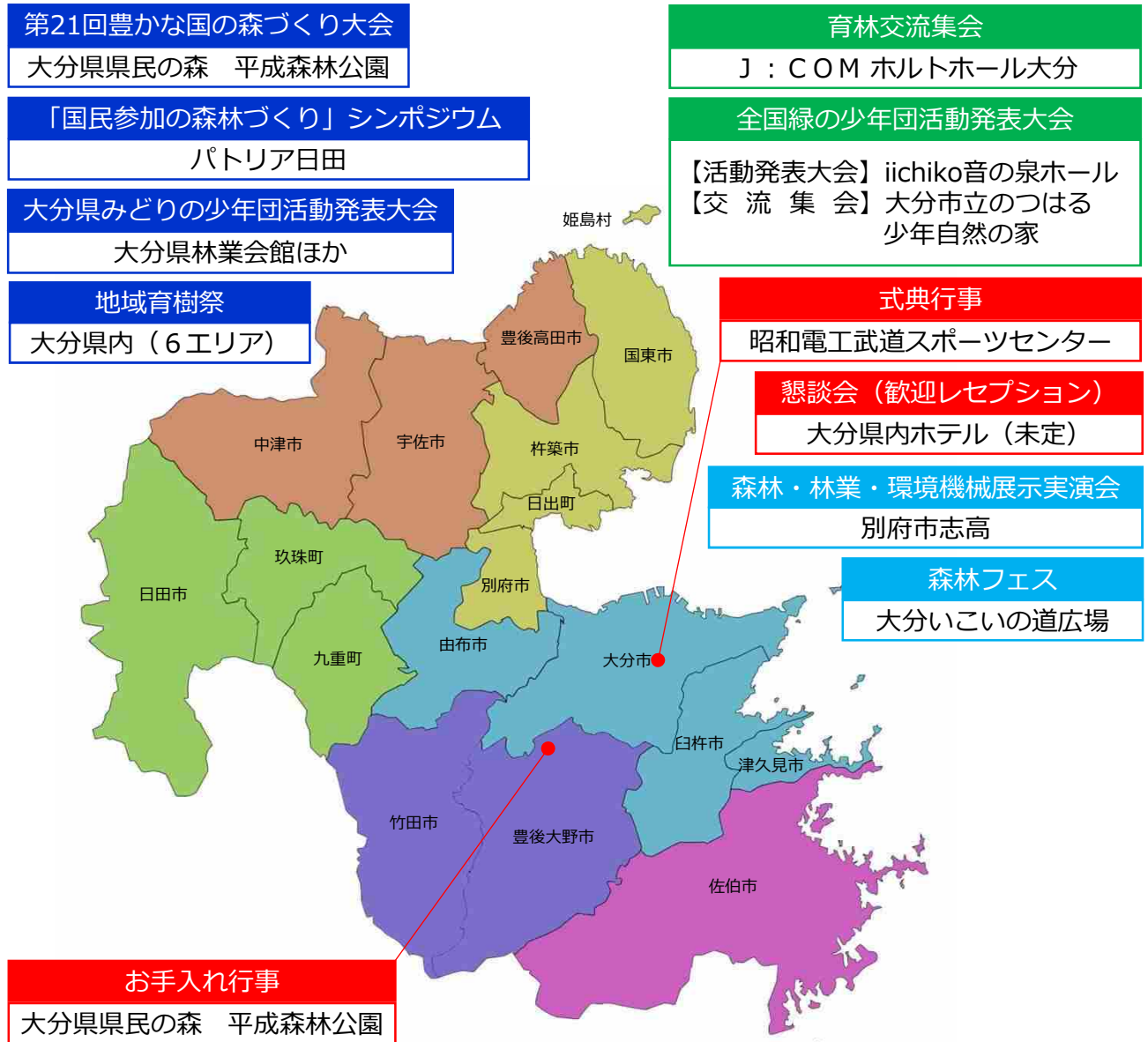
- ①主 催 大分県
- ②開催日 2022年（令和4年）11月12日（土）、13日（日）
- ③会 場 大分いこいの道広場
- ④参加者 約20,000人
- ⑤内 容 木に触れるワークショップや体験ブースをはじめ、山や森の恵みを満喫できる飲食ブースを出展するなど、子どもから大人まで、森や木に親しむことができるイベントを実施

## 【地域育樹祭】

- ①主 催 大分県・流域活性化センター等
- ②開催日 2021年（令和3年）～2022年（令和4年）
- ③会 場 大分県内各地域
- ④参加者 約1,000人
- ⑤内 容 過去に行った県の植樹祭会場等で育樹作業、環境教育などを実施



8. 開催場所詳細



2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)			
	4月～10月	11月12日 (土)	11月13日 (日)	11月14日 (月)
第21回豊かな国の森づくり大会		お手入れ行事	式典行事	
「国民参加の森林づくり」シンポジウム		懇談会（歓迎レセプション）		
大分県みどりの少年団活動発表大会		育林交流集会	森林・林業・環境機械展示実演会	
地域育樹祭		全国緑の少年団活動発表大会		
		森林フェス		

## 1. 基本的な考え方

第51回全国植樹祭（2000年（平成12年）開催）で天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木（アカガシ、ブンゴボダイジュ、ボタンザクラ、カツラ、ブンゴウメ、ケヤキ）を、皇族殿下がお手入れされるという育樹の実践を通して「継続して森を守り育てることの大切さ」を全国に広めます。

## 2. お手入れ行事の概要

- (1) 開催日 令和4年11月12日（土）
- (2) 会場 大分県県民の森 平成森林公園（豊後大野市大野町藤北）

大分県県民の森は、大分市から豊後大野市にかけて4472haの森林地帯に施設が建設されている森林公園です。県民の森には、会場となる平成森林公園のほかに、青少年の森、神角寺展望の丘があり、県民が豊かな自然と直接ふれあう場を提供しています。

平成12年に第51回全国植樹祭で天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木の周辺は全国植樹祭記念広場となっています。

【平成森林公園区域図】



【お手植え樹木の状況】



- (3) 参加者 約300人  
中央推薦、県知事推薦、豊後大野市長推薦、県内林業関係団体、漁業関係者  
協賛企業、スタッフ

(4) 次第

式次第	行事概要
記念育樹活動等	
参加者による育樹活動	会場内の樹木に施肥及び記念撮影 介添え：県内緑の少年団、県内ボーイスカウト・ガールスカウト等 ●育樹地A：特別待遇者（施肥＋記念撮影） ●育樹地B：特別・一般招待者
アトラクション	豊後大野市内の団体による和太鼓の演奏等
お手入れ行事	
皇族殿下御着	先導：大分県知事 御出迎え：大会会長（参議院議長）、(公社)国土緑化推進機構理事長 先行：県内緑の少年団
パネル展示御覧	説明：県内緑の少年団 第9回全国植樹祭（昭和33年）・第1回全国育樹祭（昭和52年）・ 第51回全国植樹祭（平成12年）の様子、お手植え木の育成状況等
お手入れ	皇族殿下による、天皇皇后両陛下のお手植え木への施肥等 介添え：県内緑の少年団、県内高校生
皇族殿下御発	先導：大分県知事 御見送り：大会会長（参議院議長）、(公社)国土緑化推進機構理事長

(5) お手入れ内容

①お手入れ対象樹木

樹種：アカガシ、カツラ

樹齢：21年（令和4年3月時点）

②お手入れ作業

皇族殿下による施肥等



◀お手入れの様子  
※第43回全国育樹祭

③お手入れ道具

手鋸、肥料入れ、鍬

お手入れ道具には、県産木材を積極的に活用します。



第43回全国育樹祭 お手入れ道具▶





### 3. 会場整備・設営

#### (1) 会場概要

会場の整備・設営にあたっては、道路設備等の整備や木垣、説明用パネル、参加者用テント等の仮設物に加え、豊かな森と海のつながりを現わす大漁旗の設置を行うなど、お手入れ行事の円滑な運営に必要な施設を整備します。

#### 【お手入れ行事会場イメージ】



#### 【お手入れ木周辺イメージ】



## (2) 会場整備

## ①道路設備等

バス等の運行車両の安全確保のための道路設備等の整備を行います。

## ②育樹活動地

参加者が安全に施肥等を行えるよう育樹活動地を整備します。

## (3) 会場設営

## 【主要な仮設物等の設置計画】

## ①仮設テントの設置

参加者席は、大型テントを設置し快適な会場づくりに努め、テントなどの仮設施設は、必要最小限にとどめ、適切な規模（数、大きさ）とします。

## ②金属探知機の設置

安全を確保するため、警戒エリアを設定します。また、会場内のセキュリティーを確保するため、金属探知機による入場管理を徹底します。

## ③会場装飾

会場を彩り、動線を確保するため県内産の飾り花で装飾します。木製プランターカバー、木製イス、お手入れ区域の木塀には、県産木材を積極的に活用します。また、木製プランターカバーと木製イスは、行事終了後、公共施設等で活用することで、全国育樹祭の理念を県民に伝えます。加えて、会場後方に大漁旗の設置を行うことで、豊かな森と海のつながりを表現します。

## ④案内誘導サイン

参加者が安全かつ円滑にお手入れ行事に参加することができるよう案内誘導サインを設置します。

## ⑤給排水設備

## ・湯茶接待コーナー

湯茶接待コーナーを設置し、湯茶等の提供を行います。

## ・仮設トイレ

トイレは基本的に会場設備を利用し、不足が見込まれる分を仮設で設置します。

## ⑥電気設備

既存の電気設備で不足する容量を仮設にて設置します。

## 4. 記念育樹活動等

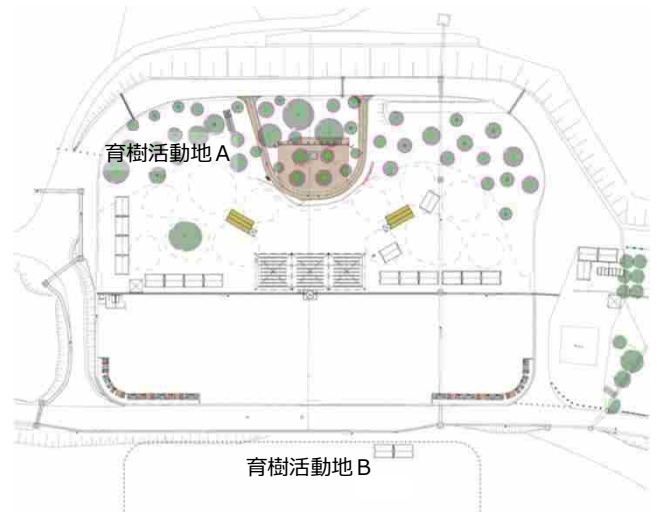
### (1) 育樹活動

#### ① 育樹概要

お手入れ行事開始前に、参加者による施肥を通じて、育樹の大切さを県民はもとより広く全国に発信します。

#### ② 育樹活動地区分

- ・ 特別待遇者  
育樹活動地 A で施肥を実施します。
- ・ 上記以外  
育樹活動地 B で施肥を実施します。



#### ③ 育樹道具

- ・ 参加者には、手袋、肥料、スコップ、おしぼりを用意します。
- ・ 肥料は、資源の循環利用を考慮し、県内で製造しているバーク堆肥を活用します。
- ・ 肥料袋は、生分解性の袋を使用します。

#### ④ 育樹方法

- ・ 樹木 1 本あたり 5 箇所程度の肥料を施し、1 人 1 箇所の穴に肥料を入れます。
- ・ 特別待遇者は、緑の少年団等が介添えを行います。

### (2) アトラクション演出

開催地である豊後大野市の魅力を知っていただけるよう、お手入れ行事開始前に郷土芸能でおもてなしを演出します。



## 1. 基本的な考え方

全国育樹祭の開催方針に基づき、大会テーマである「豊かなおおいた 森林（もり）を育み 木と暮らし」を象徴的に表現し、森林・林業県おおいたらしい緑の祭典となるよう演出します。

## 2. 式典行事の概要

- (1) 開催日 令和4年11月13日（日）
- (2) 会場 昭和電工武道スポーツセンター（大分市大字横尾1351番地）



昭和電工武道スポーツセンターの天井を支える最長70mの梁には大分県産の無垢の杉材が使用されており、日本最大級の長さを誇ります。また、内装には大分県が日本一の生産量を誇るまだけ竹材による竹細工がふんだんに使用されるなど、大分らしさが随所に施された施設です。

- (3) 参加者 約5,000人

区分	人数	内容
県外参加者	約1,000人	中央推薦、各都道府県知事推薦等
県内参加者	約2,500人	実行委員会会長選考、市町村長推薦、一般公募 等
出演者・運営スタッフ等	約1,500人	



(4) 次第

式次第	行事概要
<b>■プロローグ</b>	
オープニングアトラクション	～ようこそ おんせん県おおいたへ！～ 心温まる歓迎アトラクション 【おおいたの魅力紹介】 おおいたの森の美しい四季の映像からスタートし、自然、歴史、文化、食などの豊かな魅力をワイドスクリーンで紹介します 【伝承される文化】 長い歴史の中で伝承されてきた伝統芸能により、参加者を華やかに、そして温かく歓迎します
お手入れ行事紹介	前日のお手入れ行事を映像で紹介します
奉迎準備	インターバル
<b>■式典</b>	
皇族殿下御着	先 導：大分県知事 御出迎え：大会会長（参議院議長）、(公社)国土緑化推進機構理事長 先 行：県内緑の少年団
開会のことば	(公社)国土緑化推進機構副理事長
三旗入場・緑の少年団入場	三旗入場：大分県警察カラーガード隊、県内緑の少年団 緑の少年団入場：県内緑の少年団
三旗掲揚・国歌独唱	三旗掲揚：県内ボーイスカウト・ガールスカウト 国歌独唱：県ゆかりの歌手による独唱
主催者あいさつ	大会会長（参議院議長）、大分県知事
歓迎のことば	大分県議会議長
皇族殿下のおことば	
表彰	緑化等功労者へ感謝状等を贈呈 贈呈者：大会会長（参議院議長）、農林水産大臣、 (公社)国土緑化推進機構理事長、大分県知事
緑の贈呈	全国緑の少年団活動発表大会の発表団体へ苗木を贈呈 贈呈者：農林水産大臣
緑の少年団活動発表	代表緑の少年団の活動発表
メインテーマアトラクション	～始まりの地から、未来へ～ 森林・林業県おおいたらしさを表現したメインテーマアトラクションにより、森林を未来に残す大切さを発信します
大会宣言	(公社)国土緑化推進機構理事長
次期開催県あいさつ	茨城県知事
閉会のことば	大分市長
皇族殿下御発	先 導：大分県知事 御見送り：大会会長（参議院議長）、(公社)国土緑化推進機構理事長
<b>■エピローグ</b>	
エンディングアトラクション	森林・林業を未来へ残すためのメッセージと、参加したすべての皆様に感謝の想いを込めた温かな演奏と合唱を届けます

## 3. メインテーマアトラクション

## テーマ

## 始まりの地から、未来へ

第1回育樹祭を開催した大分の地から  
「大分の森林」「森づくりや林業の今」「森林を未来に残すことの大切さ」  
を感じていただき、全国に発信します。

## 【構成イメージ】

## 序章

暗転したステージの一角にスポットライトが落ち、語り部が静かに語り始めます。  
「今日は大分の森林を未来に残して行くことの大切さを、未来を担う子供たちと一緒に考えて  
いきたいと思います。」  
ワイドスクリーンに映し出される様々な森の映像と共に大分の林業の歴史が静かに語られ、物  
語が始まります。

## 第一章

少女を中心に、たくさんの子供たちが語り部を取り巻くように座っている姿が浮かび上がりま  
す。  
語り部の問いかけに少女たちが答え、大分県における森づくりや林業の現在（今）の姿が、映  
像を交えて紹介され、森林の大切さを伝える歌と共に、華やかなダンスが繰り広げられます。

## 第二章

少女が取材に訪れた映像とともに、豊かな森林から様々なものが作られ、私たちの暮らしを支  
え、彩っていることが語られます。子供たちの感想とワクワクした表情から、木を植え、育て、  
活用すること、つまり循環型林業の大切さが伝えられ、その想いを込めた歌声と愛らしいダンス  
が繰り広げられます。

## 第三章

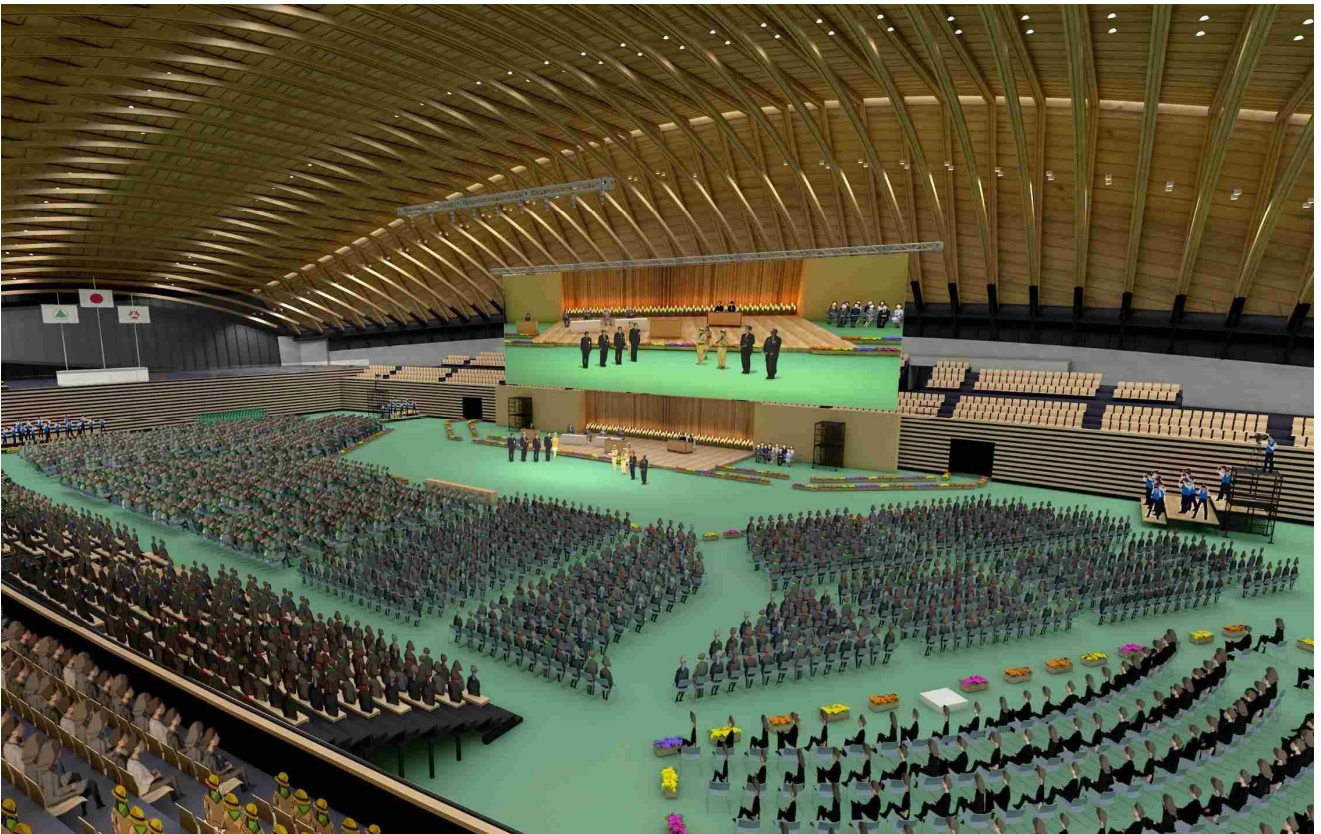
『森林（もり）を守ることは地球の未来を守ること』そして『森林（もり）を未来に残すことの  
大切さ』が語られると、静かな音楽が流れ始め少女が『誓いの言葉』を高らかに宣言し、全出演者  
の歌声が会場を包みます。エンディングでは、『森林（もり）を未来に！』の想いを全国に発信し  
ます。

## 4. 会場設営

### (1) 会場概要

会場の設営にあたっては、効果的な演出が得られるよう必要最小限の仮設物を設置するとともに、施設内外装の景観・環境に十分配慮し、県産木材を使用した安全で快適な会場づくりに努めます。

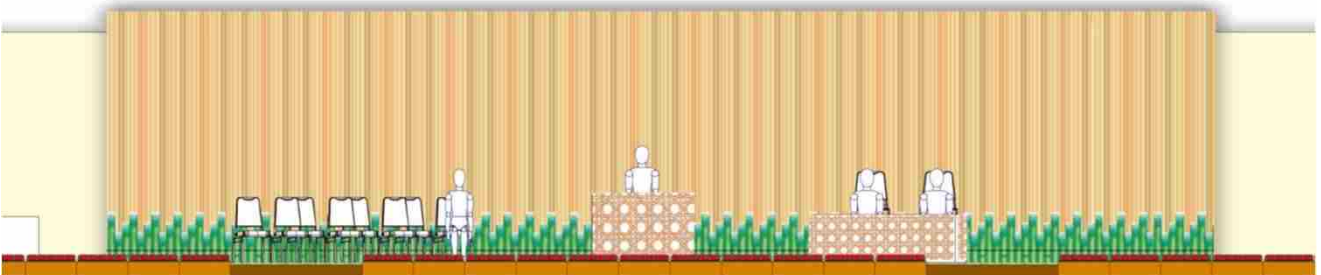
#### 【式典行事会場イメージ】



#### 【ステージイメージ】

ステージ背面には県産木材を使用したバックパネルを配置し、その前面には日本一の生産量を誇るまだけ竹材を使用した竹灯籠を配置します。

演台や皇族殿下の御机には伝統的工芸品である別府竹細工による装飾を施すなど、大分らしさを感じさせるつくりとします。



## 【主要な仮設物等の設置計画】

## ①案内所・案内誘導サイン計画

案内所を設置するとともに、参加者を入場から着席まで円滑に誘導し、おもてなしコーナーやトイレなど会場の配置を把握するための案内誘導サインを設置します。

## ②トイレ・給排水設備計画

トイレは基本的に会場設備を利用し、不足が見込まれる分を仮設で設置します。

## ③映像システムの設置

参加者席から、登壇者及びアトラクション風景や記録映像を見ていただきやすくするため、大型スクリーンを設置します。

## ④音響・照明装置の設置

参加者に、式典行事のダイナミックな演出を体感していただくため、会場内の全席へ均等に音を届ける音響装置や照明装置を設置します。

## ⑤電気設備計画

電気は基本的に会場保有のイベント盤から受電することとしますが、式典行事自体の運営、進行に支障をきたすことのないよう、必要な仮設のバックアップ電源を確保するなど十分な対策を講じるとともに、環境にも十分配慮した計画とします。

電線は、なるべく人の通らないところに配線し、通路を横断せざるを得ない場合は養生を行い、安全に配慮します。

## ⑥その他の仮設物

椅子などの施設備品や、屋外に設置するテントなど汎用性が高くリース可能な仮設物は、経済性を考慮して、原則、既製品を使用します。

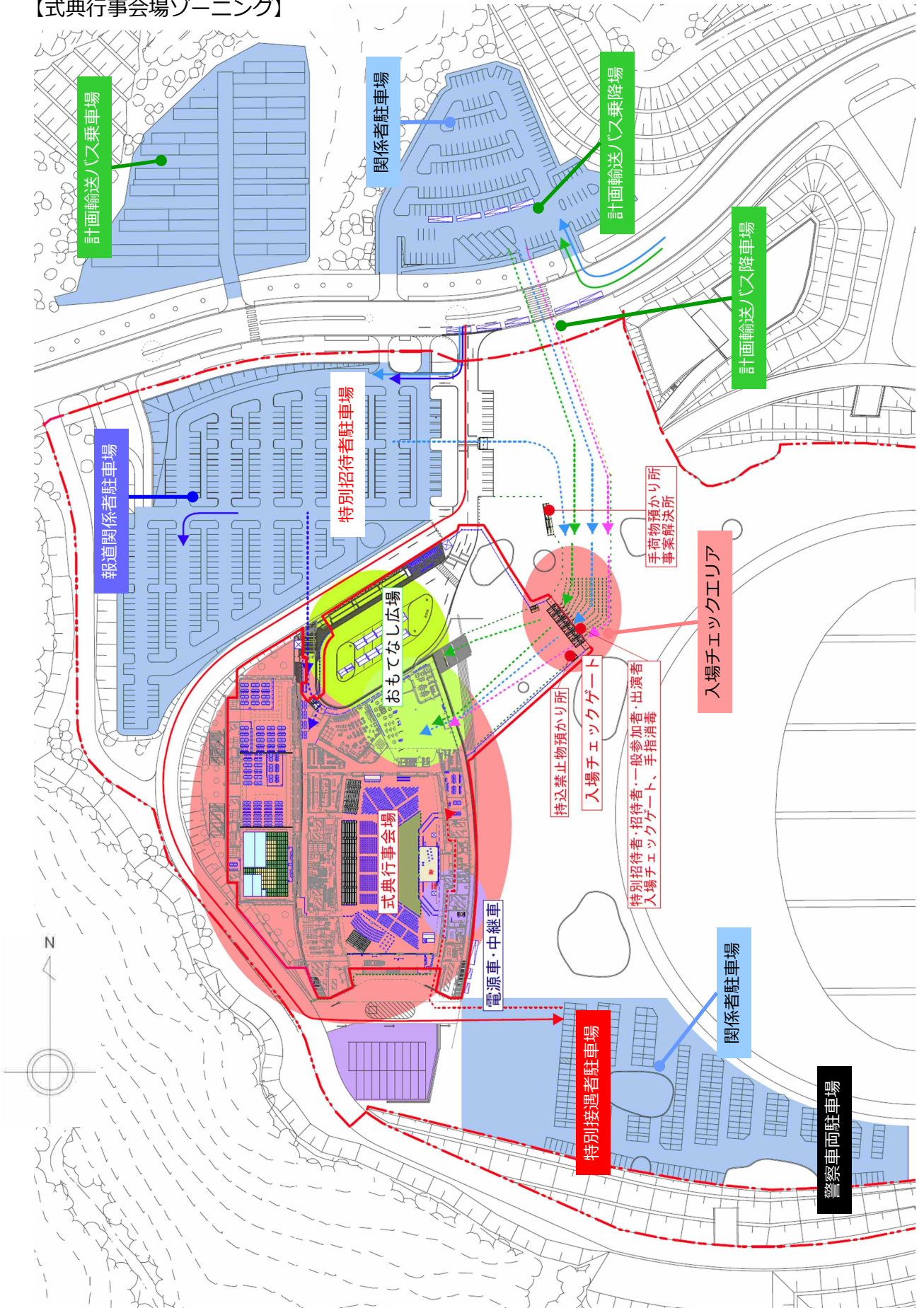
## (2) 安全性・機能性・効率性への配慮

式典行事には皇族殿下をはじめ、全国から約3500名が参加することから、会場計画は安全性を最も重視し、かつ機能的・効率的な計画とします。

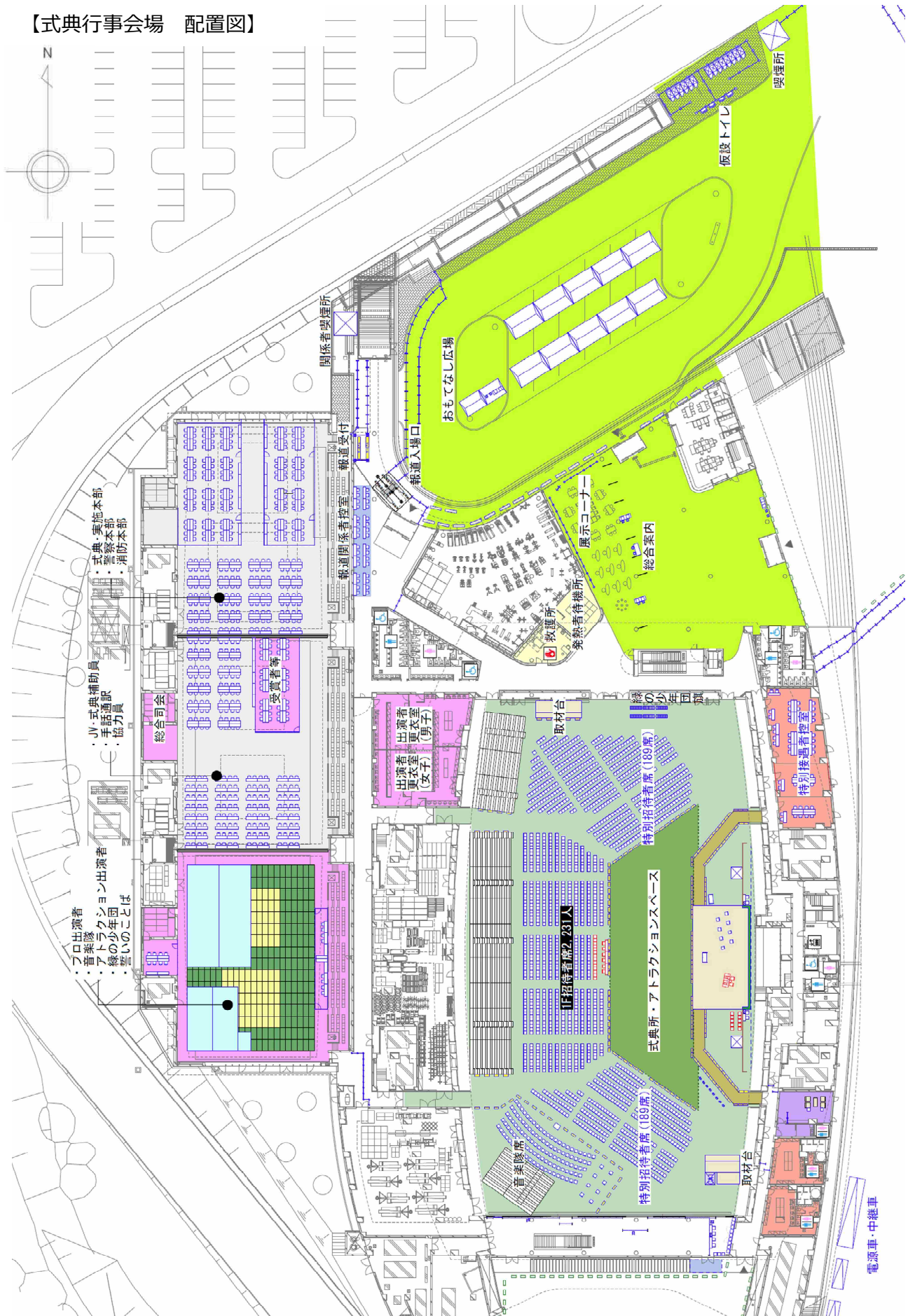
- ・警備区域を設定し、警察機関と連携して無許可車の進入を防ぎます。
- ・参加者の動線にプランターなどを設置してスムーズに誘導します。
- ・会場の特性を考慮した仮設物設置計画とします。



【式典行事会場ゾーニング】



【式典行事会場 配置図】







(3) 会場装飾計画

飾花で用いるプランターには県産の花と木材を使用し、式典行事会場等を彩るとともに、参加者の安全かつ円滑な導線の確保に配慮して配置します。

また会場のエントランス部分には、県産木材を活用して、多くの県民の「森林への思い」が詰まったウエルカムオブジェを設置します。

【花の候補 一例】

**パンジー・ビオラ**

見頃（開花期）：10月下旬～5月中旬



**ダイアンサス**

見頃（開花期）：10月下旬～5月中旬



**キンギョソウ**

見頃（四季咲き品種あり）：通年

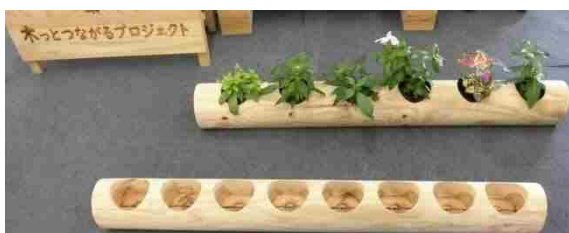


**ハボタン**

見頃（葉の観賞期）：11～3月



【プランターカバー】



【式典行事会場エントランス】





## 5. おもてなし広場

式典行事会場に「おもてなし広場」を設置し、大分県の森づくり活動や木材利用の取組、観光情報等の展示・紹介コーナーを設置します。

また、乾しいたけを代表とする大分県の特産品や飲食物の展示・販売を行います。

### 【会場配置】



### 【おもてなし広場イメージ】



▲第41回全国育樹祭 おもてなし広場



▲第36回全国育樹祭 おもてなし広場

#### ■おもてなし広場概要

「おもてなし広場」には次のコーナーを設けます。

区分	実施内容
展示・紹介コーナー	大分県の森づくり活動や木材利用の取組についての展示・紹介、おんせん県おおいたの観光PR等
物販コーナー	大分県の特産品や加工品、木や竹を使った工芸品等の紹介・販売
飲食コーナー	大分県産食材を使用した飲食物や郷土料理等を販売し、大分県の味力をPR
総合案内所	式典行事参加者に対するきめ細やかな案内を実施
湯茶提供コーナー	式典行事参加者に対する湯茶の提供
休憩コーナー	式典行事参加者が自由にくつろげるよう、テーブルやベンチを設置



▲第43回全国育樹祭 おもてなし広場

## 1. 基本的な考え方

皇族殿下の御臨席を仰ぎ、緑化等功労者を招待して懇談会（歓迎レセプション）を開催します。

## 2. 懇談会（歓迎レセプション）の概要

- (1) 開催日 令和4年11月12日（土）
- (2) 会場 大分県内ホテル（未定）
- (3) 参加者 約300人  
皇族殿下  
大会会長（参議院議長）、農林水産大臣、林野庁長官、  
（公社）国土緑化推進機構理事長、大分県知事、大分県議会議長、  
大分県関係者、大分県市町村関係者、緑化等功労者、  
林業・木材関係団体代表者等
- (4) 内容 全国育樹祭での表彰者に祝意を表する場として開催
- (5) 次第

式次第	行事概要
皇族殿下御着	先 導：大分県知事 お出迎え：参議院議長、農林水産大臣、林野庁長官、 （公社）国土緑化推進機構理事長、茨城県知事、 大分県議会議長
開会のことば	大分県議会議長
主催者あいさつ	大会会長（参議院議長）
乾杯	大分県知事
歓談	皇族殿下による緑化等功労者へのお声掛け、歓談
皇族殿下御発	先 導：大分県知事 お出迎え：参議院議長、（公社）国土緑化推進機構理事長



▲第43回全国育樹祭 レセプション

## 1. 育林交流集会

県内外の林業・木材産業の関係者や、次代を担う学生など、継続的な森林づくりに高い関心を持つ人たちが参加し、森林資源の循環利用や担い手の育成をテーマとした優良事例報告を行います。

- (1) 主 催 大分県、公益社団法人国土緑化推進機構
- (2) 開催日 令和4年11月12日(土)
- (3) 会 場 J:COM ホルトホール大分
- (4) 参加者 約300人
- (5) 次 第

項目	内容
主催者あいさつ	大分県、(公社)国土緑化推進機構
来賓祝辞	林野庁、(一社)全国林業改良普及協会
歓迎のことば	開催地
事例報告	(調整中) ※国内企業3社程度
閉会のことば	大分県



▲第43回全国育樹祭 育林交流集会

## 2. 全国緑の少年団活動発表大会

全国から選出された緑の少年団や県内外の緑の少年団が集い、日頃の特色ある地域活動の発表による相互研鑽を積むための発表大会や、団員同士の親交を深めるための交流集会を行います。

### 【活動発表大会】

- (1) 主 催 大分県、公益社団法人国土緑化推進機構
- (2) 開催日 令和4年11月12日(土)
- (3) 会 場 iichiko音の泉ホール
- (4) 参加者 約300人
- (5) 次 第



▲第43回全国育樹祭  
全国緑の少年団活動発表大会

項目	内容
オープニングアトラクション	(調整中)
団旗入場・各団紹介	緑の少年団
主催者あいさつ	大分県、(公社)国土緑化推進機構
励ましのことば	林野庁
活動発表	緑の少年団(全国選出5団体)
特別講演	(調整中)
みどりの奨励賞 表彰式	緑の少年団(全国選出5団体)
講評	(公社)国土緑化推進機構
緑の少年団育成功労者 表彰式	団体・個人等
閉会のことば	(公社)国土緑化推進機構

### 【交流集会】

- (1) 主 催 大分県、公益社団法人国土緑化推進機構
- (2) 開催日 令和4年11月12日(土)～13日(日)
- (3) 会 場 大分市立のつはる少年自然の家
- (4) 参加者 約150人
- (5) 内 容 県内外の緑の少年団が交流を深めるためのレクリエーション等を開催



## 1. 森林・林業・環境機械展示実演会

充実する国内の森林資源の活用に欠かせない高性能林業機械や、日進月歩で技術が進み活用が期待される情報関連機器等、森林林業・木材産業の効率化・高度化に資する関連メーカー等が最新技術を展示実演します。

- (1) 主 催 大分県、一般社団法人林業機械化協会
- (2) 開催日 令和4年11月13日（日）、14日（月）
- (3) 会 場 別府市志高
- (4) 参加者 約10,000人
- (5) 次 第

### ① 11月13日（1日目）

項目	内容
オープニングアトラクション	（調整中）
主催者あいさつ	大分県、（一社）林業機械化協会
来賓祝辞	林野庁
歓迎のことば	開催地
テープカット	大分県、（一社）林業機械化協会、開催地等
展示・実演	森林・林業・環境機械メーカー等による展示・実演

### ② 11月14日（2日目）

項目	内容
展示・実演	森林・林業・環境機械メーカー等による展示・実演



▲第43回全国育樹祭 森林・林業・環境機械展示実演会

## 2. その他の記念行事

全国育樹祭の開催機運を高めるとともに、県民参加の森林づくりや木とのふれあいを進めていくために、広く県民が参加できる記念行事を大分県内で開催します。

### 【森林フェス】

- (1) 主 催 大分県
- (2) 開催日 令和4年11月12日(土)、13日(日)
- (3) 会 場 大分いこいの道広場
- (4) 参加者 約20,000人
- (5) 内 容 木に触れるワークショップや体験ブースをはじめ、山や森の恵みを満喫できる飲食ブースを出展するなど、子どもから大人まで、森や木に親しむことができるイベントを実施

### 【地域育樹祭】

- (1) 主 催 大分県・流域活性化センター等
- (2) 開催日 令和3年～令和4年
- (3) 会 場 大分県内各地域
- (4) 参加者 約1,000人
- (5) 内 容 過去に行われた県の植樹祭会場等で育樹作業、環境教育などを実施

## 1. 基本的な考え方

皇族殿下のご臨席のもと、全国から約5,000人が集う大会であることを踏まえ、安全確保を最優先した運営を行うとともに、効率的でありながらも、必要な配慮の行き届いたきめ細かい運営を行い、誰もが安心・快適に参加できる大会を実現します。

また、大分県では次代を担う子どもたちの育成の観点から、第45回全国育樹祭のお手入れ行事や式典行事ほか主要な行事の運営に、県内の緑の少年団が多く参加できる体制を整えます。

併せて、大会の運営にあたっては、関係する機関、団体等との緊密な連携、協力のもと、不測の事態にも速やかに対応できる体制を整えます。

## 2. 実施本部設置計画

全国育樹祭の式典等を円滑に実施・運営するために、令和4年度に「第45回全国育樹祭大分県実施本部(以下「実施本部」という。)を設置します。また、実施本部員が自らの業務内容を把握できるよう各班単位の「運営マニュアル」を作成します。



(1) 実施本部組織図(案)



(2) 実施本部業務分掌(案)

部	班	所掌事務
総務管理部	総務調整班	実施本部の総括に関すること 行事全体の進行管理に関すること 他部及び部内の他班に属さない事項に関すること
	接遇班	特別接遇者の接伴に関すること
	報道班	報道関係者の案内及び調整に関すること
	懇談会班	懇談会(歓迎レセプション)の運営に関すること
	救護・衛生・防災班	急病者等の救護に関すること 食品衛生及び環境衛生に関すること 火災予防及び防災対策に関すること
お手入れ行事部	お手入れ行事班	お手入れ行事の運営に関すること
	記念育樹班	特別接遇者の育樹活動に関すること 県内外参加者の育樹活動の準備、補助及び誘導に関すること
式典行事部	式典行事班	式典行事の調整に関すること 表彰及び登壇者に関すること 式典音楽隊、アトラクション出演者等の行動管理に関すること 記録用写真及び映像の撮影に関すること
	会場受付案内班	式典行事の受付及び案内に関すること
	会場設営管理班	式典行事の安全対策及び会場内の整理に関すること 清掃及び美化に関すること
	おもてなしエリア班	おもてなしエリアの運営に関すること
宿泊輸送部	輸送管理班	輸送バス等の運行管理に関すること 宿泊施設における県外参加者の受付及び案内に関すること 県内参加者の受付及び案内に関すること 参加者の輸送バス添乗及び案内誘導に関すること
	駐車場班	駐車場における車両整理に関すること
	弁当配布・回収班	弁当の配布及び回収に関すること
併催・記念行事部	全国緑の少年団活動発表大会班	全国緑の少年団活動発表大会の運営に関すること
	育林交流集会班	育林交流集会の運営に関すること
	森林・林業・環境機械展示実演会班	森林・林業・環境機械展示実演会の運営に関すること
	森林フェス班	森林フェスの運営に関すること

3. 参加者行動計画（1日目）

お手入れ行事会場・大分県民の森平成森林公園 / 歓迎レセプション会場				
区分	皇族殿下	特別待遇者	県外参加者	県内参加者
車両	御料車	ハイヤー	バス等	バス等
午前	お手入れ行事会場			
午後		会場着	会場着	会場着
		育樹活動		
	御着			
	お手入れ行事			
	御発			
		会場発	会場発	会場発
	懇談会（歓迎レセプション）会場			
		会場着	会場着	会場着
	御着			
	懇談会（歓迎レセプション）			
御発				
	会場発	会場発	会場発	

4. 参加者行動計画（2日目）

式典行事会場／昭和電工武道スポーツセンター				
区分	皇族殿下	特別待遇者	県外参加者	県内参加者
車両	御料車	ハイヤー	バス等	バス等
午前	式典行事会場			
			会場着	
		会場着		会場着
	御着	プロローグ		
	式典行事			
	御発	会場発	エピローグ	
	昼食（会場内）			
			会場発	
			会場発	
				会場発
午後				会場発

## 5. 受付計画

### (1) 式典行事

#### ① 宿泊する参加者

式典行事前日に宿泊施設にて1回目の受付を行い、式典行事当日に2回目の受付を行います。

#### ② 宿泊しない参加者

県内各地に設置する指定集合地等にて受付を行います。

### (2) その他の行事

会場等に実施本部員を配置し、受付・案内を行います。

前日受付、当日受付とも、参加者数に対して十分な受付ブースを用意することで、確実な本人確認やセキュリティチェックを行いながらも、スムーズに受付できる体制を構築します。

## 6. 警備・警護計画

大分県警察本部及び関係機関等との緊密な連携により、警備・警護に不備のないようにします。

- ① 会場内での事件・事故を防止し、円滑な運営を図るため、警察等関係機関と緊密に連携して警備を実施します。
- ② 会場周辺に警備員や実施本部員などを配置し、警備や車両の交通整理、参加者の誘導にあたり、雑踏事故、交通事故、その他の事件事故防止に努めます。
- ③ お手入れ行事会場、式典行事会場及びレセプション会場の入場ゲートでは、金属探知機による持ち物検査を実施します。
- ④ 会場に仮設物等を設置し撤去するまでの間、必要に応じて夜間警備員を配置するなど無許可者の侵入やいたずらの防止を図ります。

## 7. 消防・防災計画

会場周辺に消防車等を配置し、万一の火災、自然災害等の緊急事態に備えます。

- ①火災、地震等の災害が発生した場合には、参加者の安全確保を最優先とした運営を行います。
- ②消防、警察その他関係機関との協力体制を築き、緊密な連携を図ります。
- ③特に危機管理については、責任者を明確にするとともに、緊急事態等の発生に備え、対応マニュアルや避難計画等を準備し、実施本部員に周知徹底します。
- ④実施本部が中心となり、異常の早期発見、通報に努めます。
- ⑤会場内の主要施設及び火気取扱箇所には、消火器を設置し、防火指導を徹底します。
- ⑥会場内は、喫煙所を除いてすべて禁煙とし、必要に応じて消火器を設置します。
- ⑦宿泊施設については、地元消防署等関係機関の協力を得て、安全対策に万全を期します。

## 8. 救護・衛生計画

各会場における傷病者の救護に関する体制を整備するとともに、飲食等による事故の発生防止を図るための食品衛生対策、ごみ処理や尿処理等の環境衛生対策を取ります。

### (1) 医療・救護

- ①行事当日及びリハーサルにおいて、傷病等の発生に備えるため、医療・救護体制を整えます。
- ②必要に応じて会場内に救護所を設置し、傷病者の医療・救護を行います。
- ③救護所には、関係機関の協力を得て、看護師及び傷病者の手当に必要な医薬品・医療器具や休憩用ベッドを備えます。
- ④消防署や近隣医療機関の協力を得て、緊急時の搬送体制を整えます。
- ⑤会場や宿泊施設、輸送時において、傷病等が発生した場合、素早く適切に加療にあたるよう、医療・救護対応フローを作成します。

## (2) 環境衛生対策

- ①保健所等の協力を得て、食品衛生や環境衛生について、関係機関と協議を行い、衛生対策体制を整備します。
- ②食の安全を期すため弁当業者や宿泊施設、会場内の食品提供団体等への指導を行い、食品衛生管理を徹底します。
- ③飲食等により発生する廃棄物は適切に処理を行い、会場及び周辺的环境美化に努めます。
- ④会場内にゴミ集積所を設置し、分別回収を行うとともに、係員による適宜巡回清掃を行い、快適な環境づくりに努めます。
- ⑤会場内各所に設置する仮設トイレについても、巡回清掃及び確認を行い、清潔で使いやすい環境づくりを心がけます。
- ⑥式典行事参加者の感染防止対策として、手洗い・うがいの徹底とマスクの着用、消毒液を配置します。

## (3) 新型コロナウイルス感染症対策

ウィズコロナ時代の中で、多くの方々に安心してご参加いただけるよう、国の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」や「イベント等における業種別ガイドライン」等を踏まえて「第45回全国育樹祭における新型コロナウイルス感染防止の対策方針」を作成し、三密（密閉・密集・密接）の抑止や消毒等の感染リスク拡大防止などの基本的な対策を実施するとともに、今後の様々な情勢変化を把握し、迅速かつ適切な対策を講じるなど、参加者の安全を最優先に、感染症対策を徹底します。

また、新型コロナウイルスの感染状況に著しい変化があった場合は、速やかに共催者などの大会関係者と対応について協議・調整を行い、適切に対応します。

## ＜関連する指針等＞

- ・国の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」
- ・イベント等における「業種別ガイドライン」
- ・大分県版「新しい生活様式」 など



## 9. 参加者サービス計画（式典行事）

式典行事会場に総合案内所、湯茶提供コーナー等を設置し、参加者へのサービスに努めます。

### （1）総合案内所

- ①参加者の入場動線上に総合案内所を設置し、式典行事会場内の施設案内をはじめ、第45回全国育樹祭に関するすべての案内のほか、おもてなし広場と連携して、県産品のPR等を行います。
- ②遺失物・拾得物は、総合案内所にて取扱います。
- ③迷入は、総合案内所にて対応し、関係者の早期発見に努めます。
- ④場内放送は、必要に応じて司会席にて行います。

### （2）その他

- ①自動販売機は使用不可とします。

## 10. 緊急対応計画

各行事ごとに、非常事態等に緊急対応するための体制を整備します。

### 11. 雨天時・荒天時対応計画

行事中止の判断基準となるガイドラインの設定のほか、荒天時等の開催可否を判断するための「判定会議（仮称）」を設置します。

#### （1）判定会議の開催

- ①荒天時等（暴風・強風等）で行事を計画どおりに実施することに懸念が生じた場合は判定会議を実施し、お手入れ行事及び式典行事等の開催を判断します。
- ②開催の判断は、警報・注意報の発令や交通機関の運行状況等を参考に行います。

#### （2）決定内容の通知について

- ①荒天により中止とすることが決定された場合には、関係者に直ちに通知します。
- ②また、第45回全国育樹祭公式ホームページ等により、情報提供を行います。

#### （3）雨天時のお手入れ行事の開催

雨天時のお手入れ行事については、傘の差し掛けで対応します。

(4) 判断基準

行事名	天候	対応	説明
お手入れ行事	晴天	開催	計画に基づき開催します
	雨天		晴天時と同様に行事を開催します
	荒天	中止	屋外会場のため行事を中止します
式典行事	晴天	開催	計画に基づき開催します
	雨天		屋内会場のため開催します。但し、台風が接近した場合等参加者の安全輸送に支障を来す恐れがある場合には、プログラムの変更や規模縮小、開催中止を状況に応じて判断します
	荒天		

※大規模な地震等の緊急事態が発生した場合は、大会を中止します。

## 1. 広報計画

### (1) 広報

第45回全国育樹祭を広く県内外に知らせるとともに、開催への機運を高めるため、効果的な広報を積極的に行います。

- ①公募により決定した「大会テーマ」「大会シンボルマーク」「ポスター原画」を効果的に活用します。
- ②報道関係、業界紙、広報誌、インターネットなどを活用した情報発信を積極的に行います。
- ③各種広報物品（リーフレット、ポスター、パネル、のぼりなど）を制作し、関係機関などに配布します。

### (2) 記録

第45回全国育樹祭の開催記録を保存するために、記録誌やDVDを制作します。

## 2. 協賛計画

全国育樹祭の開催趣旨に賛同する企業や団体、個人を対象に、金銭や物品、広報PRへの協力等による協賛を募集します。

### (1) 協賛の種類

- ①金 銭 協 賛：大会の準備及び運営等に要する金銭の提供。
- ②物 品 協 賛：大会の準備及び運営等に要する物品の提供。
- ③広報PR協賛：大会行事の広報及びPR活動への協力。

### (2) 協賛の特典

- ①式典行事プログラム・協賛者ボード・記録誌等への団体名称記載
- ②大会公式HPへの掲載
- ③大会公式ロゴマーク、シンボルマーク等の使用
- ④式典行事への参加者枠優先確保
- ⑤懇談会（歓迎レセプション）への参加者枠優先確保
- ⑥おもてなし広場での企業ブース出店枠優先確保
- ⑦感謝状の授与
- ⑧記念誌の提供
- ⑨記念品の授与

## 1. リハーサル計画（お手入れ行事）

第45回全国育樹祭の式典運営をはじめ、開催に向けての準備を整えるため、各種練習会・研修会及びリハーサルを事前に実施し、総合調整を図ります。

### （1）お手入れ行事総合リハーサル

実施日：令和4年11月6日（日）

場 所：大分県県民の森 平成森林公園

内 容：お手入れ行事全般に関わるリハーサル

### （2）お手入れ行事前日リハーサル

実施日：令和4年11月11日（金）

場 所：大分県県民の森 平成森林公園

内 容：お手入れ行事全般に関わるリハーサル

### （3）お手入れ行事当日リハーサル

実施日：令和4年11月12日（土）

場 所：大分県県民の森 平成森林公園

内 容：お手入れ行事直前の通しリハーサル

## 2. リハーサル計画（式典行事）

- (1) 式典音楽隊合同練習会  
実施日：令和4年夏～秋（未定）  
場 所：近隣公共施設等  
内 容：式典音楽演奏の合同練習会及び音源の録音（式典補助員他研修用音源）
  
- (2) 式典補助員研修会  
実施日：令和4年夏～秋（未定）  
場 所：近隣会議室等  
内 容：接遇の基本所作研修及び式典の登降壇者誘導等のレクチャー
  
- (3) 式典行事リハーサル  
実施日：令和4年10月中旬  
場 所：昭和電工武道スポーツセンター  
内 容：式典行事に関わるリハーサル（プロローグ、メインテーマアトラクション、エピローグを除く）
  
- (4) 式典行事総合リハーサル  
実施日：令和4年11月5日（土）  
場 所：昭和電工武道スポーツセンター  
内 容：式典行事全般に関わるリハーサル
  
- (5) 式典行事前日リハーサル  
実施日：令和4年11月12日（土）  
場 所：昭和電工武道スポーツセンター  
内 容：式典行事全般に関わるリハーサル

### 3. 開催スケジュール

令和4年（2022年）秋季の開催に向け、記念行事の開催や会場の整備、実施計画の策定、リハーサルの実施など、計画的に準備を進めていきます。

年度	月	大会開催計画	リハーサル等	会場関係
令和3年度	10月			お手入れ行事会場の整備等
	11月	11月2日 開催期日の決定・公表		
		11月13日 第21回豊かな国の森づくり大会		
	12月	12月5日 「国民参加の森林づくり」シンポジウム		
	1月			
	2月	2月10日 大分県みどりの少年団活動発表大会		
3月	実施計画の決定・公表			
令和4年度	4月	一般参加者の募集		各種練習会・研修会
	5月			
	6月	大会実施本部設置	式典行事 リハーサル	
	7月	地域育樹祭の開催		
	8月			
	9月			
	10月		お手入れ行事 及び式典行事 総合リハーサル 前日リハーサル	
	11月	11月12日 第45回全国育樹祭（お手入れ行事）		仮設物の設置
		11月13日 第45回全国育樹祭（式典行事）		
		11月12日～14日 併催・記念行事		
	12月			
1月				
2月				
3月	記録誌の発行			

## 第45回全国育樹祭 実施計画

令和4年4月発行

編集・発行：第45回全国育樹祭大分県実行委員会  
大分県大分市大手町3丁目1番1号県庁舎8階（全国育樹祭推進室内）  
電話：097-506-3852